

令和 年度（ 6年度決算分） 高松市事務事業評価表【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	さまざまな主体がつながり、ともに力を発揮できるまち	評価	局名	総務局
	政策	自立的で推進力のある行財政運営の確立	担当	課(室)名	コンプライアンス推進課
	施策	行財政運営の基盤強化		電話番号	087-839-2155
	取組方針	職員力の向上		事業期間	令和6年度～令和13年度
	事務事業	コンプライアンス推進事務			

【事業全体概要】

事業概要	高松市職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関する条例に基づき、内部公益通報や不当要求行為に対応することなどにより、職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に努める。また、「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めるとともに、行政執行過程で生じる諸問題に対応するため、行政問題法律相談を実施するなど、職員のコンプライアンス意識や法的知識の向上に努め、不祥事の撲滅と市民の信頼確保、さらには市民サービスの向上に取り組んでいる。				
年度概要	・各種職員研修の実施 ・行政問題法律相談の実施 ・内部公益通報及び不当要求行為等への対応 ・その他「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づく各種取組の推進				
重点取組事業		市長マニフェスト		関連根拠法令	職員の倫理及び公正な職務の執行の確保に関

【事業の目的】

対象（何を）	全職員
意図（どのような状態にしたいか）	市職員としてのコンプライアンスについて理解した上で、職務を遂行する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）		単位	R 4	R 5	R 6	R 7	中期目標 R 8
①	コンプライアンス推進施策における実施・着手施策数	施策	0	0	25	25	25
②							

【事業の成果】

成果指標①

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4
コンプライアンスを理解している職員の割合	%	目標値	0
		実績値	0
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づき、各種研修を中心とした職員の意識改革に主眼を置いた各種取組を進めた結果、前年度比0.5ポイント下降し、96.2%となった。	(目標達成度)	101.3%
		(得点)	35点

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
実績値	0	0	0	0	96.2	95	95	95

成果指標②

成果指標名 (どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 4
懲戒処分者数の減少率（対平成26年度比）	%	目標値	0
		実績値	0
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	平成27年度からコンプライアンス推進の各種取組に着手した結果、懲戒処分者数は着手前（26年度）の9人から、令和6年度は5人、減少率44.4%となった。	(目標達成度)	44.4%
		(得点)	16点

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
実績値	0	0	0	0	44.4	100	100	100

	単位	R 4 (決算)	R 5 (決算)	R 6 (決算)	R 7 (予算)	
トータルコスト	[千円]	21,109	21,501	22,168	23,614	
	(事業費)	[千円]	6,141	6,533	6,728	8,174
	(職員人件費)	[千円]	14,968	14,968	15,440	15,440

項目	事業内容	積算根拠等 (予算の増減理由)	事業費		
令和 6 年度	・各種職員研修の実施 ・行政問題法律相談の実施 ・内部公益通報及び不当要求行為等への対応 ・その他「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づく各種取組の推進	【単位：千円】 公務員倫理特別研修（４回）：４３７ 行政問題法律相談：２，８９９ 公正職務審査会関係：４１６ その他研修・事務費等：２，９７７	総額	6,728	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源		6,728			
令和 7 年度	・各種職員研修の実施 ・行政問題法律相談の実施 ・内部公益通報及び不当要求行為等への対応 ・その他「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」に基づく各種取組の推進	【単位：千円】 公務員倫理特別研修（４回）：４３８ 行政問題法律相談：３，４３９ 公正職務審査会関係：４４９ その他研修・事務費等：３，８４８	総額	8,174	
			特定財源	国	0
				県	0
				市債	0
				他	0
一般財源		8,174			

区分	評価項目	評価基準	
妥当性	事業の実施が総合計画・市長マニフェスト等の目標達成や、事業の根拠等に結び付くか。	5	結びつく
	事業の実施に対する市民のニーズの傾向はどうか。	5	高まっている
有効性	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
	住民福祉の向上に貢献しているか。	5	貢献度が大きい
効率性	事業実施手法としては最適か。	5	現状が最適である
	類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性はあるか。	5	現状が望ましい

評価ランク	A (80%～100%)	A	総合点 (率)	81 / 100 (81%)	今後の方向性	継続
	B (60%～79%)					
	C (0%～59%)					
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）						
継続的に事業を推進する中、取組内容の固定化や一部の職員の意識の低下も見受けられたことから、令和2年3月にリスクマネジメント会議の運営方法を中心とした見直しを行った、「高松市職員のためのコンプライアンス推進施策」の取組を推進し、改善を図った。しかしながら、懲戒処分者が5人と、職員の意識低下が懸念されることから、今後は、コンプライアンスに対する理解向上に加え、職員の意識と行動につなげる取組が課題である。						
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針・改善策を具体的に記入）						
職員一人一人のコンプライアンスについての理解、意識、行動につながるよう、当課主導の公務員倫理特別研修と各局における公務員倫理研修の研修効果を高められるよう最適な手法を検討する。あわせて、令和元年度に運営方法を見直したリスクマネジメント会議を定着させ、実効性を高めるなど、所属における取組を強化し、組織として不祥事を未然に防ぐ職場風土の醸成を図る。						